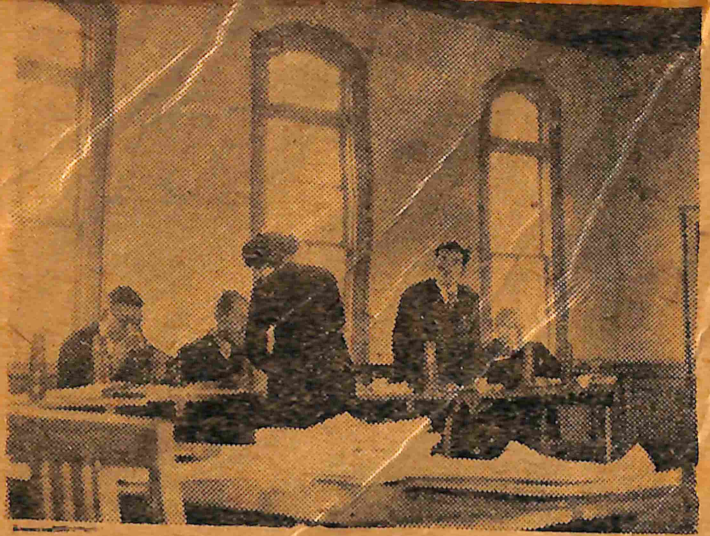
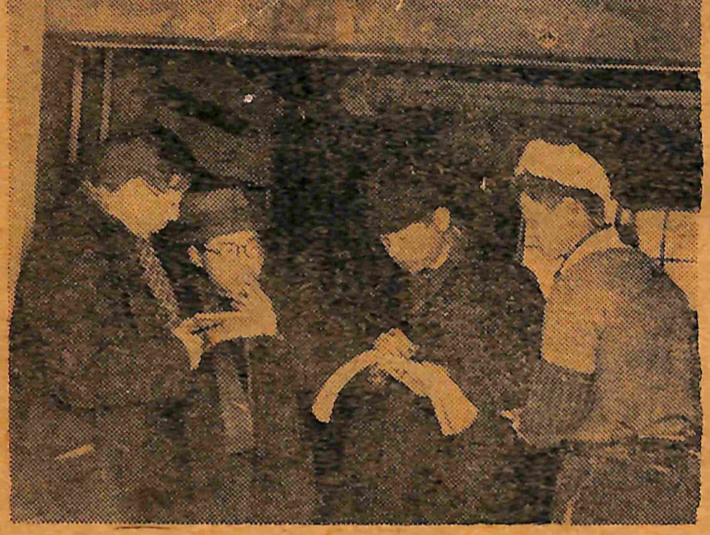


発行所 金木町役場 印刷所 東奥日報社 印刷局 金木だよりは毎月一回発行し各世帯毎に一部ずつ無料配付致しております。

金木だより



【写真】二日目(三月十八日) 一般質問の町議会



【写真】徴税に大奮の役場職員

三千五百十万百六十円

廿八年 五百六拾余万四増 度より

昭和29年度の予算決る

第三十九回定例町議会は三月十七日から二十一日まで六日間、十五件の提案を慎重審議の結果、案件は全部原案通り可決されたが、昭和二十九年年度の「金木町歳入歳出予算」についてその概要を次にあげてみよう。

消費的経済の削減をねらいと、年々増大する人件費では町長の俸給及び手当の一部と、それに職員の出張手当の半減、宿日直料の格下げ、交際費、旅費などの大幅削減を断行。他方歳入の増収については町民所得の変動等を考慮して堅実な額を見込み、一面手数料及び使用料は、他町村に比して低率であるので値上げするなど、あらゆる角度から検討を加えて最小限度に予算の編成をしたのであるが、それでも予算総額は、昨年より五百六十八万五千七百一十一円増の三千五百六拾六万四千四百一十円、起債補助一、七六三、〇〇〇円、起債六六三、二〇〇円、△金木中学校改築新築 △金木中学校改築新築 六拾三万円の予算で二四五坪

税制改革の影響で

苦しい今年の町収入

過年度の町税滞納 350万円

昭和二十九年年度の町税収入の基準は目下国会で審議中の税法改正案を考慮し、さうして二十八年度の現計予算を基礎に編成したものであるが、昭和二十九年年度の歳入予算の主なるものについてその概要を、△町税 昭和二十九年年度の町税収入の基準は目下国会で審議中の税法改正案を考慮し、さうして二十八年度の現計予算を基礎に編成したものであるが、昭和二十九年年度の歳入予算の主なるものについてその概要を、△町税

つぎに述べてみよう。 前年度の当初予算額に対して百五十四万四千八百四十四円と、所得割の制限税率が引下けられたのが大きな原因、然しながら、これは過年度の未収町税八十二万九千八百四十四円と、あつて、事實上の町税は八十六万七千九百六十円の減となつて、この減額計上した理由としては、北地方の貯蓄成績は例年にならぬ成績である」となつており、また

四月一日から値上げ

手数料及び使用料

昭和二十九年年度の予算は、町長の俸給や手当等の一部を返上するなど、歳出面で大幅の削減をはかつたが、歳入でもやはり四苦八苦。それで町では他町村からみて、すつと低率だつた手数料と使用料を四月一日からつぎのように値上げすることになった。

種類	金額一件につき
印鑑証明	五〇円
身分証明	五〇円
遺物証明	五〇円
その他の証明	五〇円
各種帳簿取付用紙	三〇円
納税証明	五〇円

四教育が新しくなる。二九年年度起債二、三〇〇、〇〇〇円、花田町長談

「この予算を以て事足りると考へておきません。いずれなんらかの財源を見出して計画事業の遂行はもちろ、追つて新規事業への着手実現を期する所存であります。と同時に予算の執行にあつては極力節約を期し、漸次ゆとりのある町財政に導いてまいらうつもりですから、何分ご協力の程をお願い申し上げます。」

△地方財政平衡交付金 総額六百万円が昨年度当初予算より六十万円増を計上したが、これには交付されるものとして六

は一般に政府の緊縮予算に伴い、必然的に減額は免れ得ないものと考へられてはいるが、税制改革による普通税の減収と、冷害による農産物の減収が予想され、従つて町税の減収もまた相当額に達する。平衡交付金は大体において昨年程度(収入済額六三万

百万円を計上した。 △その他 その他については二十九年年度の予算総額をみればわかるが、手数料及び使用料の料引上げや、建設事業に対する国及び県の補助、計上したものである。



農協強化を決意し 議長 辞任

予算議会の最終日三月二十二日全議案の審議終了後、白川議長は金木第一農協協同組合長(常勤)に就任、同農協の強化に専念したいといつて議長辞任を表明、町議会ではこれを承認した。

【議場における白川議長】 枝代表者総代成田清一郎氏より 津島 英治 (四月一日附)

辞令

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

金木町監査委員 津島 英治 (四月一日附) 歳末たすけあい運動 (記載省略)

議会報告

第三十九回定例町議会 (三月十七日至三月二十二日)

議案採決結果

議案採決結果

議案採決結果

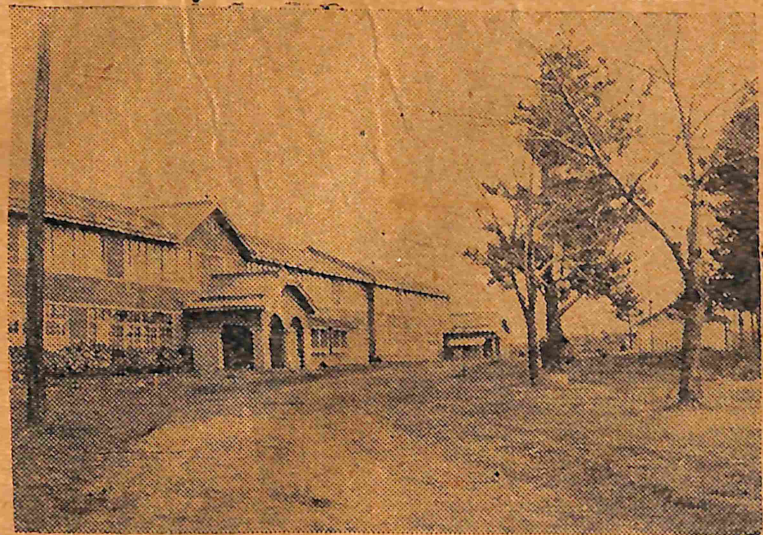
議案採決結果

昭和29年度青森縣北津輕郡金木町歳入歳出予算総計表

Table of budget items for income (歳入) including taxes, fees, and grants. Total income is 35,100,160.

Table of budget items for expenses (歳出) including education, social welfare, and administrative costs. Total expense is 29,414,439.

来る五月一日、二日に青森県統計協会主催で、第六回青森県統計大会を、当町金木小学校で開催することになったが、当日の参加者は三市一六四町村の市町村長及び統計職員や調査員が約五百名中央からは総理府統計局長始め講師として三名、その他県知事などの来賓を合わせ約六百名が来町の子定で、当局はその準備で大変といふことである。



第六回青森県統計大会
お客様が六百名来町
五月二日場所金木小学校
町は五枚以内、町町官公衛は一、二枚以内、学校は制限をしない

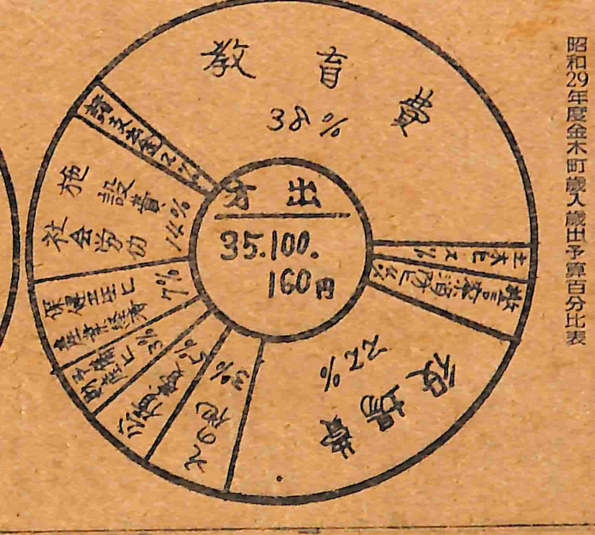
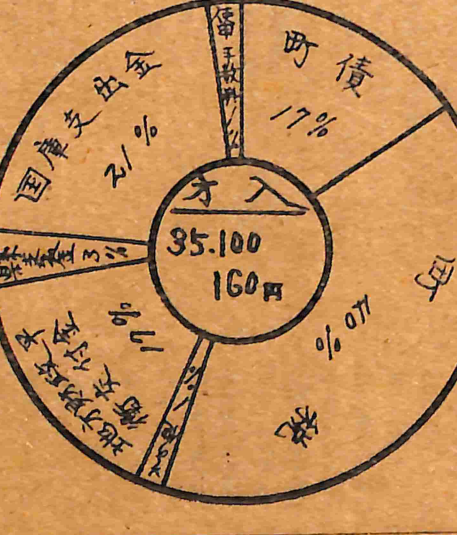
入所おめでどうござります。今までの生活とはちがって自分勝手や、一人だけの生活はできなくなり、小さい『社会』の一員となつて、共同の生活をするのですから、この意味を理解されて、所の保育に御協力の程を願います。

三月の保育所だより
理解ある家庭に

十分させて、伸び伸びと子供を育てることであります。
一、母の会について
母の会には是非御出席下さい。幼児の教育は所と家庭(お母さん)との提携によらなければなりません。母の会には必ず時間において下さい。いろいろ重要な相談、お子様のことについての話し合い、有意義なお話しなどがあつて、二、入所前の注意
保育所に親戚感をもたせること、三、入所直後の注意
保育所をだしにして子供をおどす

1、附添い
附添いはできるだけの人がよろしい。友達と一緒に来られる所内へ入らずに所外まで下下さい。子供の依頼心をつくらぬようして下さい。
2、離れない子供
最初が肝心です。初めからつきそつて、所内に入つて、世話をしますといつても構いません。あまえるものだと思ひこんで、あまさつと引きあげてお帰りにさうして下さい。
3、泣く子供
中には泣く子供もありますが、泣くからといって御機嫌をたはいつても離れません。少少泣いてもあつて先生にまかせ置いて子供のすきを見て引き上げるのがよろしい。
4、共同生活になれない子
末子とか一人子とか又は今までは友達同志で遊びつけない子供は、みんなと一緒にならざることをあきらめ、機嫌よく遊べるようして下さい。
4、欠席について
一度の欠席は長い欠席の基になります。できるだけ欠席させないようして下さい。

話すか、またはできるだけ書いておしらせすること
子供の口から話した時々間違いがありまからおかしと思われたら直接保育所の方へお問合せ下さい
2、お弁当
お弁当は当分ありません。なれらまでお弁当にいたします。お弁当になる時は御通知申し上げます。
3、用便のこと
自分一人で行けるようにすること、それから登所の際に必ず用便(特に大便)をさせてから所へ出して下さい。
4、脱が落ちないこと
子供は勝手なことをいうことがあり、少し、所の生活にあきがくると登所をいやがることありますが、こんな時に子供にまけないで所に興味をもたせるよう、うまく出席させて下さい。
5、欠席について
一度の欠席は長い欠席の基になります。できるだけ欠席させないようして下さい。



八、標置及び図のとりかたは任意とする。
三、提出期日
標置提出 至急
図表提出 四月二十三日
四、提出先
青森県統計協会調査課図表係
五、優秀図表の審査
青森県統計協会において審査委員会を設けて審査する。
六、表彰
優秀図表作成町および官公衛(または個人)学校(または個人)を五月一日に北郡金木町において開催の、青森県統計大会において表彰する。

町当局では当日町民一般、殊に学生、生徒、児童統計調査員とも多数御参観されることを望んでいる。
【写真会場となる金木小学校(全景)】

昭和29年度金木町歳入歳出予算百分比表
歳入 35,100,160円
歳出 29,414,439円